

平成26年度 決算報告書

国立大学法人 京都工芸繊維大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	5,506	5,245	△ 262	(注1)
施設整備費補助金	993	1,069	76	(注2)
補助金等収入	198	667	469	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	26	30	4	(注4)
自己収入	2,334	2,696	362	
授業料、入学金及び検定料収入	2,269	2,240	△ 29	(注5)
財産処分収入	-	374	374	(注6)
雑収入	65	81	17	(注7)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	599	663	63	(注8)
計	9,656	10,370	713	
支出				
業務費	7,840	7,445	△ 396	(注9)
教育研究経費	7,840	7,445	△ 396	
施設整備費	1,019	1,100	81	(注10)
補助金等	198	663	465	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	599	671	72	(注12)
国立大学財務・経営センター施設費納付金	-	182	182	(注13)
計	9,656	10,060	404	
収入-支出	0	310	310	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、計画時に見積もっていた次年度への繰越額が増加したことに伴い、予算額に比して決算額が262百万円少額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、前年度完了予定の事業が今年度に完了したことに伴い、予算額に比して決算額が76百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった国からの補助金獲得に努めたことに伴い、予算額に比して決算額が469百万円多額となっています。
- (注4) 国立大学財務・経営センター施設費交付金については、計画時に見積っていない緊急の営繕事業について施設費の交付を受けたことに伴い、予算額に比して決算額が4百万円多額となっています。
- (注5) 授業料、入学金及び検定料収入については、平成27年度入学者に係る授業料の前納が前年度より減少したことに伴い、予算額に比して決算額が29百万円少額となっています。
- (注6) 財産処分収入については、嵯峨団地および上賀茂団地の一部を売却したこと、また特許権の売却に伴い、予算金額に比して決算額が374百万円多額となっています。
- (注7) 雑収入については、主として学校財産貸付料等収入が増加したことに伴い、予算金額に比して決算額が17百万円多額となっています。
- (注8) 予算段階では予定していなかった国(の各組織、特殊法人及び民間)からの受託研究の獲得に努めたことに伴い、予算金額に比して63百万円決算額が多額となっています。
- (注9) 業務費については、教育研究経費において経費の節減に努めたことに伴い、予算金額に比して決算額が396百万円少額となっています。
- (注10) (注2)に示した理由等により、予算金額に比して決算額が81百万円多額となっています。
- (注11) (注3)に示した理由等により、予算金額に比して決算額が465百万円多額となっています。
- (注12) (注8)に示した理由等により、予算金額に比して決算額が72百万円多額となっています。
- (注13) 財産処分収入の一部を施設費納付金として国立大学財務・経営センターへ納付したことに伴い、予算額に比して決算額が182百万円多額となっています。